

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校消防設備改修事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	03	01	03	56
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	消防設備の改修による消防法への適合
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 点検により指摘された不良箇所・型式失効等の改善・改修。 消防設備の誤作動等による事故や災害時の生徒の安全を確保。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化対策と同様に、消防設備の改修が遅れている。 非常放送設備及び自動火災報知設備受信機については、消防本部と協議のうえ、計画を策定し改修を実施することとした。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	消防設備改修実施率	32	97	95	%	777	改修実施件数/点検指摘箇所数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・設備の老朽化による不良箇所のほか、法令改正による既存不適合も発生している。 ・非常放送設備及び自動火災報知設備については、改修費用がかかることから、複数年度の計画的な改修を実施。 ・消防設備の経年により、点検時の指摘事項が増加してきているが、安全に関する内容だけに改修率100%を目標にしている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,323,242	3,682,820	2,129,994				
事業費(b)(円)		979,992	2,541,780	1,602,634				
うち一般財源		979,992	2,541,780	1,602,634				
職員給与費(c)(円)		343,250	1,141,040	527,360				
人役・職員(人)		0.05	0.17	0.08				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防設備改修工事の早期発注	③取組における課題(Check)	改修には多額の費用がかかる消防設備も多く、保守点検での指摘に対し改修が追い付いていない。
②H30に実施した取組(Do)	消防設備の保守点検の結果を踏まえた不良箇所の早期改修	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	限られた予算の中で実施していくために優先順位を的確に判断し、改修していく。